

令和2年11月13日 校長 高倉 満

## 授業改善に向けてさらなる前進を図りましょう！

□11/18には交流授業の整理会が行われます。1月には校内授業研で深山先生の公開授業を予定しています。本年度はコロナ禍の中でも停滞することなく校内研修がさらに充実してきたと実感しています。研修部が中心となり全職員が自分の役割を意識しながら取り組む、その姿勢が学力向上に向け共通の課題意識をもつことにつながり、積極的に授業改善に取り組もうとする浮羽中の職員組織を支えているのだと勝手に思っています。やはり、浮羽中の学力向上への取り組みの大きな特徴の一つは、全員が協働体制で前向きに取り組む校内研修だと思えます。



全職員が指導案検討から積極的に意見を出し合い意見を交流することで、学力向上に向けた考え方や取り組みの共有化が図られていると思っています。学校の教育活動が活性化するには、職員の実践意欲が高まることが欠かせません。学力の向上についても、それぞれが何をどう取り組めばいいのかが焦点化されることが重要です。また、取り組んだことが結果として表れることも、私たち職員のモチベーションを高めることにもつながります。私たちが職員室や学年部会で生徒の話題や授業の話しを楽しく出し合い、居心地の良い学校にしていくことで、達成感をもっともっと感じられるものになると思います。頑張っていきましょう。最後に、これからも①取り組みを評価改善していく。②全職員で役割分担をしながら③組織的・計画的・意図的に④決めたことを確実に実施、この視点で検証していきましょう。

### GIGAスクール構想（Global and Innovation Gateway for All）

□GIGAスクール構想の実現に向けて文科省からロードマップが出ています。先生方もご承知のように来年度は一人一台のタブレットが準備されます。常にタブレットが使える状況になり、ICT活用が今まで以上に重要になってきます。うきは市は数年前からICT教育に力を入れはじめ、環境整備も整えてきました。浮羽中も校内研修テーマにICT活用を入れて手探りながら実践を積み重ねてきました。まさに先取りをした実践が行われてきました。羽犬塚中、比良松中が視察に来ましたが、異口同音に「すごい」「初めて見ます」「うちが遅れている」の連発でした。私たちが自信をもっていいのは、うきは市より環境整備が整っている市町村はあります。でも日常の授業の中でタブレットを含め、ICTを積極的に活用し授業改善を図っている学校は少ないです。これが浮羽中、そして先生方の強みだと自負しています。

まさに「一人一人の一番」の取り組みができる可能性があると思います。今後、新学習指導要領をうけ技術科でのプログラミングの内容充実、各教科のデジタル教科書の導入拡大が進んでいきます。新たな授業改善の可能性がそこにはあると感じています。先生方が浮羽中で実践し、自分の力にしてきた取り組みはどここの学校でも通用する本当に大きな財産です。さらに磨きをかけていきましょう。国は2023年（令和5年度）までに環境整備を終わらせる計画ですが、大切なのはどう授業で活用を図るかです。今後（未来）の教育は全ての授業でデジタル教科書をはじめとするデジタルコンテンツをフルに活用し、教師の指導や生徒の学びを支援する観点から多様な生徒たちの誰一人取り残すことなく、個別最適化された学びの実現になると言われています。

私たちは保護者をはじめ地域社会の意識改革、学校におけるICT活用のPDCA構築等も考えていく必要があります。もちろん私たち自身の研修や指導体制の充実、専門的な人材の確保、外部人材の参画促進等を含め課題はたくさんありますが、その分可能性は大きいと思います。頑張っていきましょう。



可能性を磨く職員研修